

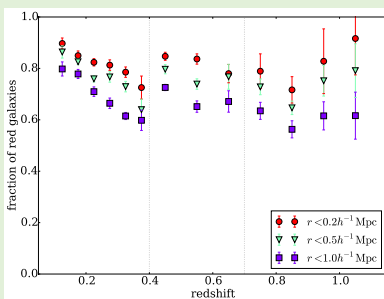
準解析的モデルで探る銀河団領域の銀河分布の進化

大木 平 (カブリIPMU), 西澤 淳 (名古屋大学), 西道 啓博 (カブリIPMU), 長島 雅裕 (文教大学), 大栗 真宗 (東京大学), Surhud More (カブリIPMU), HSC team

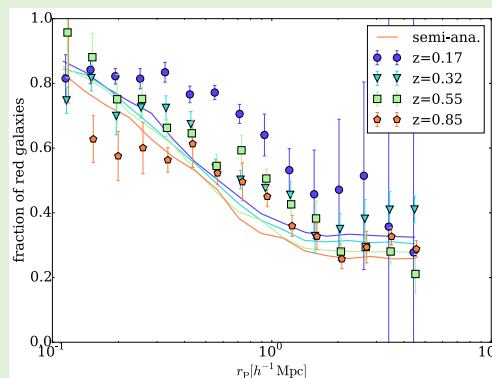
銀河進化と銀河環境

- 銀河団内の赤い銀河の割合 (red fraction)、の赤方偏移進化 ($0 \lesssim z \lesssim 1$)
- すばるHSC

Nishizawa+2017



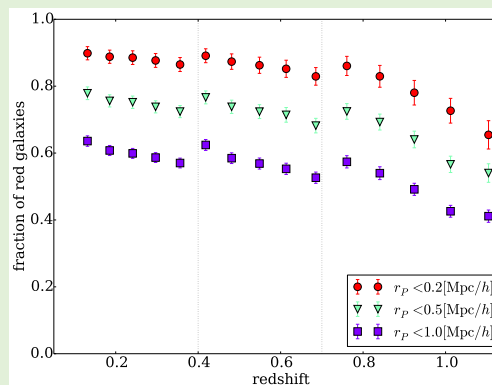
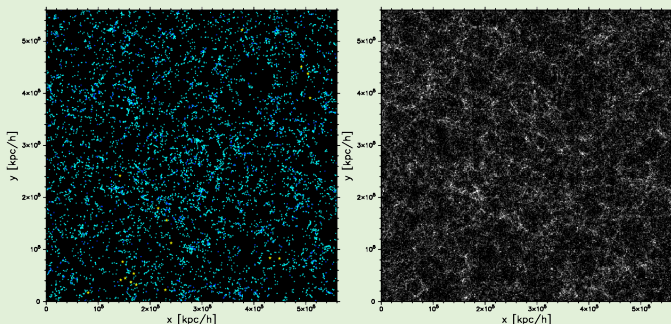
結果：red fraction



Red fraction の動径分布。実線は理論モデル、点はHSCの観測結果。

- モデルでは red fraction が時間とともに増加する
- 観測ほど顕著な変化は見られない (特に銀河団外縁部)

準解析的モデル： v^2GC



銀河団中心からある距離までの銀河の red fraction の赤方偏移依存性

- モデルは、観測される赤方偏移進化と定性的に一致